



庁用車を使ったPR

どのくらいあるのか。

A 総務部長 ホームページのバナー広告は、平成23年度は80万円でした。平成22年度は116万円、平成21年度は93万円です。広報紙は、平成23年度が81万6千円、平成22年度が34万円です。

Q 用する封筒の枚数はどのくらいあるか。

A 財政課長 角2封筒は約2万5千枚、長3封筒は、約3万8千枚です。

Q 平成22年9月定例議会で、「封筒に広

告宣伝をして、財源確保

したらどうか」と質問した際に、市長から「十分に参考にさせていただき、勉強します。」と答弁があったが、その後どのような進んでいるのか。

A 市長 担当のほうで検討するよう、指示しました。

Q 1千枚単位、あるいは2千枚単位で、広告等を募集してはどうか。

A 財政課長 地域のニーズを検証しながら、検討してまいります。

Q 公用車は何台あるのか。

A 財政課長 総数で183台です。

Q ツカー等で広告を募集したり、納税推進のまちなど、宣言の頭文字だけでもPRすべきだと思

うかがいか。

A 市長 市が今、市民に訴えていることとは大変重要で、さまざまな形でやりたいと思

います。

●公共交通について

Q 乗合タクシー、基幹バスの予算総額8千500万円は、すべて一般財源か。

A 総務部長 平成24年度は、地域公共交通活性化協議会に、補助金として支出をしています。運賃収入を除けば、今年度は一般財源を予定しています。

Q 交付税措置はあるのか。

A 総務部長 普通交付税はありませんが、特別交付税の中で、参入されています。

Q その他の補助金は

ないのか。

A 総務部長 平成23年度は、限度額がありました。補助率2分の1という範囲の中で、3千200万円ほど国からの補助を得ています。今年度は、そういう事業がなくなりましたが、今、新しい事業が創設されているので、事業者を通じて、補助金申請をしていただく方向で、取り組もうと

しています。

Q 乗合タクシーは、何台契約してあるのか。

A 総務部長 現在、9台です。

Q 1台当たりの契約金額はどのくらいか。

A 総務部長 1日当たり、1台約2万1千円です。ちなみに、1時間当たり、1台約2千100円ということになります。

Q 時間にすると、何時間の契約か。

A 総務部長 通常の運行で、10時間です。

Q 8千500万円の予算内訳は。

A 総務部長 基幹バスの運行委託料が、約2千320万円。乗合タクシーが、約4千440万円です。システムを動かすオペレーターの人件費やデマンドシステムを運営するために、約1千110万円です。その他に、実態調査などを行う際の、その他経費等で、630万円です。

利用者の一部負担

額はどのくらいか。

A 総務部長 平成23年度の乗合タクシーの運賃収入は、874万1千円です。基幹バスは、平成23年度の実績で、545万3千823円です。

Q 乗合タクシーの登録者は、何人くらい

いるのか。

A 総務部長 この5月末現在、5千357人です。

Q まだまだこの制度がわからない方がいると思う。今後、これ

のようにPRしていくのか。

A 総務部長 PRは、現在もさまざまな形でやっているところですが、今年度、実証実験運行が、最終年度ということになりますので、この時期を利用して、広報紙はもちろん、いろいろな形で取り組んでいくことは考えています。

Q 高齢者が、運転免許証を返上した場合の特典として、乗合タ

クシーや基幹バスの利用代

金を減額するサービス

してはどうか。

A 市長 それも1つの施策と思いますが、市の公共交通の目的が、弱者、高齢者に対しての日常生活の足の確保だと思

っています。

時代も大変変わってきて、エネルギーをいかに消費をしないかという時代になってきていますので、少し公共交通に頼った生活をしていただくという

ことも大事だと、そういう意味では、こういった基幹バス、デマンドタクシーの利用率を向上させるためということからすれば、取り入れてもいいものかと考えます。

●交通安全について

Q 津辺、新泉地先の

変則の十字路交差点は、富田方面からの進行

方向が、非常に見通しが悪く、危険箇所だと思

われるかがか。

A 都市建設部長 見通しが悪く、危険性はあると思っています。徐行の標識を設置したらどうか。